

潮江東地域コミュニティ計画



潮江東小学校区では「自分たちのまちを自分たちでよくしていくこと」をコンセプトとした「コミュニティ計画」の策定に、潮江東小学校区地域内連携協議会（通称：ひがし連携）を中心として、潮江東小学校区にお住まいの皆様と共に取り組んでおり、潮江東小学校区の皆様から広くご意見をいただく場として、「潮江東地域コミュニティ計画 策定会議」を開催しております。

コミュニティ計画のこれまで

平成
5年度

「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完する各地区ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ各地区において策定・推進に取り組む

28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定し、計画を実施する市民主導の自主組織として「コミュニティ計画推進市民会議」を設立し、約20年にわたり搭載事業の推進に取り組む

- 各地区のコミュニティ計画策定から長期間が経過している
- 搭載事業のほとんどがすでに実施済みである（行政によるハード整備事業）
- この計画を策定していない地区や推進団体のいない地区があること
- 計画を策定した当時と、社会情勢が大きく変化したこと
→少子高齢化や人口減少、地域活動の担い手不足、住民同士の関係の希薄化などが顕著になってきたこと

上記の枠内の内容を踏まえて…

将来的にも地域内で住民や団体、事業者等がお互いに支え合い、助け合えるような社会を作り、地域課題の解決に向けて地域と行政が手を携えて協力していこうという「地域コミュニティの再構築」の取り組みが開始される

平成24年度に、高知市で最初の「地域内連携協議会」が布師田地域で設立される

地域内連携協議会とは、概ね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人、団体、事業者等がゆるやかにつながり、地域の現状や課題を共有し、課題解決に向けて連携・協力していくための基盤となる団体のこと

平成
27年度

「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、今後のコミュニティ施策について提言された内容を基に、新たなコミュニティ計画の在り方について検討を開始

→計画未策定の「久重地域」と策定済の「よこせと地域」をモデル地区に選定し、新たなコミュニティ計画を策定

<新たなコミュニティ計画の考え方>

- これまでのコミュニティ計画に搭載していた比較的規模の大きなハード事業は「都市計画マスタープラン」に搭載されているため、**住民主体で取り組めるソフト事業を中心**とすること
- 計画の主体は、地域の各種団体や個人で構成された**地域内連携協議会**であること
- 計画期間は、計画の策定や推進に関わる団体が一定の見通しを立てやすい**5年間**とすること

令和
4年度

久重地域、よこせと地域でコミュニティ計画を更新（第2期コミュニティ計画の策定）

潮江南地域で第1期コミュニティ計画を策定

第六地域、潮江東地域で第1期コミュニティ計画を策定中

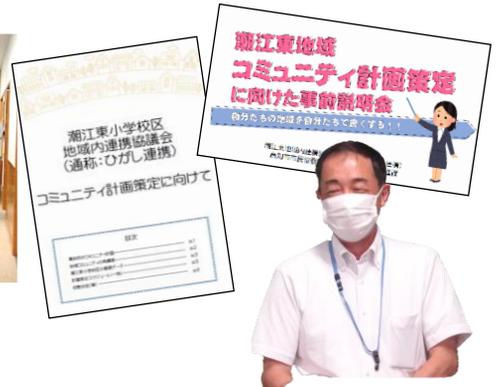
Step 1

事前説明会 5月24日（水）

参加人数
23人

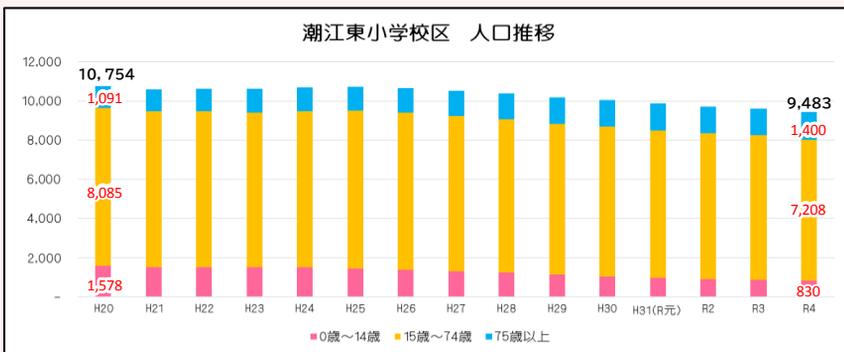
コミュニティ計画策定に取り組むにあたり、コミュニティ計画についての事前説明会を開催しました。

事前説明会では、潮江東地域の人口推移や世帯数の推移などを踏まえて、潮江東地域の現状を見える化したデータの共有をしたあと、今後取り組もうとしているコミュニティ計画について共有しました。



潮江東地域 基礎データ

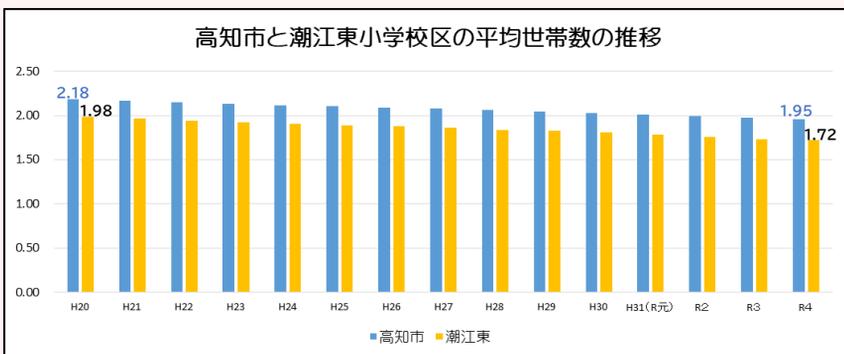
※高知市統計情報の各年10月を参考に作成しています。
基礎データをまとめた資料が欲しい方はお問い合わせください。



チェックポイント

H20とR4を比較すると…

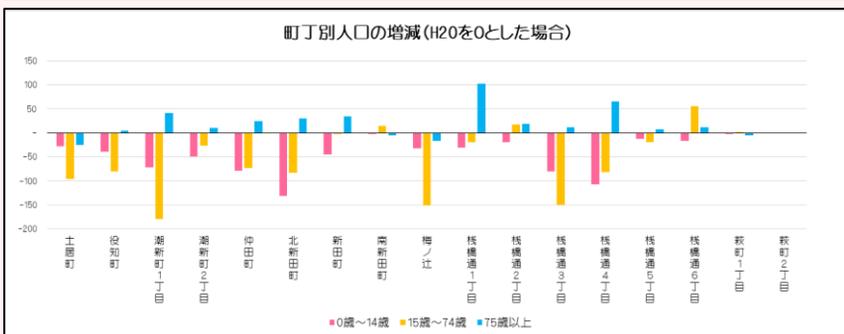
- 人口が年々減少している (10,754人→9,438人)
- 0歳~14歳の人口減少が著しい (1,578人→830人)
- 75歳以上の人口が増加している (1,091人→1,400人)



チェックポイント

H20とR4を比較すると…

- 世帯平均人数が年々減少している (1.98人→1.72人)
- 人口推移と平均世帯人数の推移の双方の面から考えると、75歳以上の方で一人暮らしの方が増加したのではないかと考えられる



チェックポイント

- 各町の75歳以上の人口が、平成20年より、各町で増加している
- 南新田町、棧橋通り2丁目、棧橋通り6丁目では、15歳~74歳の人口が増加している (他の町では増加していない)

第1回策定会議では、高知市広報紙「あかるいまち6月号」と同時配布した、アンケートの調査結果の共有と、潮江東地域の魅力・課題の整理、5年後どんな地域になりたいかについて、検討しました。



アンケート調査結果（一部抜粋）

コミュニティ計画策定にあたり、地域にお住まいの方の意見を幅広く集めるため、潮江東小学校5・6年生と潮江東地域にお住まいの13歳以上の住民を対象にしたアンケート調査を実施しました。

【こども版】 潮江東地域の魅力と課題について

順位	いいところ・魅力	課題・改善点
1位	あいさつ	美化
2位	交通安全	清掃
3位	見守り活動	つながり(行事等)

【おとな版】 潮江東地域の魅力と課題について

順位	いいところ・魅力	課題・改善点
1位	交通の便	つながり(行事等)
2位	近所付き合い	防災活動
3位	あいさつ	交通安全

こどもの声（一部抜粋）

- ・挨拶をしたら返してくれるとうれしいです。
- ・公園や自転車の使い方、道の通り方などを見返ってほしいなあと思います。
- ・みんなで協力できて、仲良くなれるゲームや、遊びをしてほしいです。
- ・僕達が安全に登下校ができるように見守り活動を続けてほしいです。
- ・ゴミ拾いを手伝ってほしいです。
- ・環境を大事にしてほしいです。
- ・長生きして地域の活動を続けてほしいです。

※アンケート調査結果をまとめた資料がございますので、資料が欲しい方はお問い合わせください。

各班意見（一部抜粋）

アンケート調査結果を踏まえて、地域の魅力や課題について意見を出しました。魅力や課題を整理した後は、将来（5年後）地域がどうなって欲しいか話し合いました。

地域の魅力・いいところ

- ・地域のつながりが強く残っている
- ・民生委員の見守り活動が充実している
- ・子ども消防団
- ・旗振り活動により親が安心できる
- ・子ども食堂に子どもから高齢者までが参加している
- ・潮江菜など有名な伝統野菜がある

地域の課題・改善点

- ・アパートやマンション等が多く、つながりが薄い
- ・団体についての情報が少ない
- ・見守りや交流の場が少ない
- ・子どもに声をかけづらい（不審者扱いされる...）
- ・防災意識をもっと高める必要がある
- ・道端にゴミが落ちている、ゴミのポイ捨て



※第1回策定会議の意見をまとめた資料がございますので、資料が欲しい方はお問い合わせください。

第2回策定会議では、潮江東地域の将来像や基本目標、既存の活動について検討し、潮江東地域の将来像が決定しました。

潮江東地域の将来像(テーマ)が決定しました!

こじゅんとつながる ひがしびと

こどもから高齢者まで、潮江東地域のみんなあが“こじゅんと”つながって、みんなが顔見知りになるような地域になりたい、ともに笑い合い、支え合える地域になりたいという強い想いが込められています!

各班意見(一部抜粋)

将来像を決定する際に発表していただいた各班の意見です。発表後に投票し、現在の将来像が決定しました。どの班にも、みんな、つながってという想いが存在していました!

こじゅんとつながる ひがしむら

あえて“むら”と表現した理由は、小さいコミュニティで、つながりやすいというイメージがあるので“むら”という言葉を選びました。
この将来像の根底には、誰もが顔見知りである地域、知らない人がいない地域、誰でも声をかけやすい地域を目指していきたいという想いを込めています。

A班



技術が発展しようとも 人のつながりより強く ～みんなが主役の潮江東～

高知市出身の板垣退助の「板垣死すとも自由は死せず」を言い換えてみました。
社会情勢が変化し、人と人のつながりが薄くても生きていける時代になっていますが、つながりだけは強くあろうという想いをこめています。
また、第1回策定会議で出ていた“みんなが主役の潮江東”という言葉が素敵だったので活用しました。

B班



みんなが集う魅力あふれる街 ～高知南高校跡地で みんなが勝手に繋がる遊び場に～

高知南高校跡地をアーバンスポーツで若者がにぎわう地にしたいという想いです。
また、秋公園でここにいるみんなイベントをしよう。そうすれば、みんなが顔見知り、仲良しになります。いきなり顔を合わせて、仲良しになりましようということは難しくても、一緒に遊んだら自然と顔見知りになる、仲良しになる、という想いを込めています。

C班



手をとりあい 共に歩む ひがしびと

子どもから高齢者まで、みんなが笑顔で支え合えて、つながりを持てる地域にしたいという想いをぎゅっと凝縮させて、みんなが、いろんなつながりを持っているという意味も込めて、手をとりあい、共に歩むという表現にしました。

D班



みんなで拓げよう 笑顔の輪

漠然とした将来像に感じますが、3つの想いを込めています。
1つ目は、高齢者が安心して外に出れる、楽しんで生活できる地域にしたいという想いです。
2つ目は、小さいお子様が初めて会う大人にも挨拶ができるような地域にしたいという想いです。
3つ目は、外から引っ越してきた人が、疎外感なく、笑顔で暮らせる地域にしたいという想いです。以上の3つの想いを込めています。

F班



子どもから大人までの 触れ合いを大切にし、 安心安全に暮らせるまち

一番長い将来像となっています。
キーワードとしては、安心安全、地域のみんな、子どもから大人までの関わり合い、ふれあいということです。これらを大切にしていきたいよねという想いを込めています。

E班



※基本目標や既存の団体活動一覧に対する意見をまとめた資料がございますので、資料が欲しい方はお問い合わせください。

第4回策定会議では、これまでにみんなで検討してきた“今後5年間で取り組む具体的な事業”を基に事業案の実施可否等について検討しました。



各班意見とまとめ

これまでに話し合った事業案の実施可否について、話し合い、各班で優先順位が高いと思う事業を3つ発表していただきました。

A 班

継続的にできる事業を実施する!!

子育て世代から高齢者までが集う居場所づくり
→中高生が小学生に勉強を教える場にする
駄菓子屋を定期的開催して集う場所にする
継続的な活動として実施する

SOSカードを普及させる
→SOSカードを町内会に協力してもらい配布する
潮江東地域の全員で実施する

お助け隊や見守り隊を作る
→中高生がメインのチームと大人がメインのチームに分かれて活動する



D 班

継続的にできる事業を実施する!!

広報事業を強化する
→掲示板やSNSを利用して、情報発信をすることでPTAを卒業しても情報が行き届く
団体や活動について「知らない」という声を少しでも少なくする、協力者を増やせる

見守りバッジを作り身に付けてもらう
→信頼のできる人ということが分かる

防災意識を向上させる
→防災知識をつける場を設ける
イベントをつまたく活用しながら新しい層の参加者を集める



B 班

何よりも大事なことは命を守ること!!

防災のイベントを通じて命の守り方を知る
→定期的に取り組み
連合防災会と協力して、潮江東地域全体で避難訓練を実施する

交通安全教室や自転車点検を実施する
→園児や児童が学ぶ場を提供する
講習内容をスタンプラリーにして楽しみながら学ぶ工夫をする

子ども・大人・高齢者の多世代が集う場所をつくる
→昔遊びを一緒に遊ぶ場所を作る
高知南高校跡地を利用して開催する



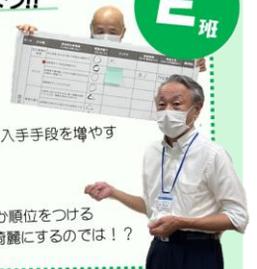
E 班

楽しいと感じるものをやってみよう!!

避難場所での宿泊体験を実施する
→校庭でキャンプをしながら、親同士もつながる機会をつくる
楽しく面白いイベントとして開催する

広報事業としてホームページを開設する
→各団体の情報等を取りまとめたホームページを開設し情報の入手手段を増やす
紙ベースのものとの電子の両方をうまく活用する

公園イベントとしてスタンプラリーを開催する
→潮江東地域の公園を子どもたちが巡り、どの公園が良かったか順位をつける
順位がつくので、スタンプラリーの開催前に各町内で公園を綺麗にするのでは!?



C 班

潮江東地域のみんなでつながる!!

萩公園でイベントをみんなでやろう!!
→顔見知りの関係をつくるのが大事
各町内から3人ずつ選出し、実行委員会を立ち上げる
(町内会の垣根を取っ払って実施できる)
企業も協力してくれるところがある
キッチンカーを呼びこいで防災も同時に出来る
グラウンドもあるのでスポーツも併せて実施する

まずはみんなの名前と顔を覚えよう!!
地域の資源(萩公園)を活かして活動を実施しよう!!



F 班

アンケートなどの意見から考える!!

お祭りを通じてつながりづくりを行う
→秋ごろの涼しい時期にみんなでできるようなものを実施する
昔遊びや防災、様々なブースをつくる

公園の美化活動をする
→子どものアンケートでも意見が多かったので美化活動を行う
11か所ある公園をひとつずつ子どもたちと一緒に美化していく

合同避難訓練を開催する
→潮江東地域は津波等の被害が大きい地域のため、防災に関する取り組みが必要
あらかじめ日時を指定して地域共通の訓練として開催する



計画冊子(案)検討会では、潮江東地域の基礎データやアンケート調査結果、これまで実施してきた策定会議の内容を計画冊子(案)としてまとめました。

この検討会で話し合った内容を次回の策定会議で報告し、地域のみなさんから意見をいただきながらさらに良い計画冊子にしていきます。



計画冊子の構成

I. はじめに

- 01 あいさつ
- 02 第1期潮江東地域コミュニティ計画について

II. 計画本篇

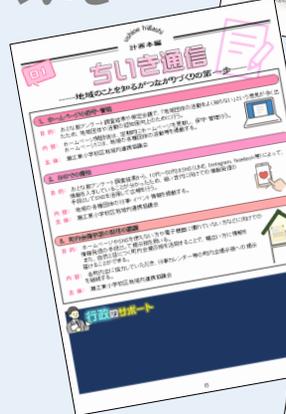
- 01 将来像・基本目標について
- 02 計画のスケジュール
- 03 取組内容

III. 資料編

- 01 コミュニティ計画について
- 02 旧計画について
- 03 地域の現状・アンケート調査結果
- 04 計画策定の経過
- 05 地域の活動紹介
- 06 参画者一覧

IV. おわりに

- 01 あとがき



Step
7

第5回策定会議 11月29日（水）

参加人数
31人

第5回策定会議では、潮江東地域の基礎データやアンケート調査結果、これまで実施してきた策定会議の内容をまとめた計画冊子（案）の内容や構成について協議しました。

今回の会議で将来像の変更を報告し、潮江東地域の将来像が、「こじゃんと つながる ひがしのわ」に変更しました。



こじゃんと つながる ひがしのわ

写真撮影



Step 8

第6回策定会議 1月31日(水)

参加人数
31人

第6回策定会議では、これまでの内容を取りまとめた計画冊子(案)について、地域のみなんで確認しました。

今回の会議が、最後の策定会議です。これまで話し合ってきた内容を確認し、来年度以降、計画を推進できるように確認をしました。



計画冊子(案)

アンケート調査や策定会議をとおして、話し合った意見や想いのこもった計画冊子(案)を、確認しました。



写真撮影

1年間、ほぼ毎月策定会議を開催し、取り組んできたコミュニティ計画づくりも今回で終了しました。これからは推進の段階です！共に頑張りましょう！



潮江東地域コミュニティ計画の策定にあたり、高知市長に計画冊子(案)を報告しました。

本計画は、住民計画であり、行政計画でもあります。地域住民と行政が、お互いへの得意なこと、できることを、支え合いながら進めていく計画が策定されました。

潮江東地域をよりよい地域にしていくために、地域のみならず行政も一緒に頑張りましょう！

<当日の流れ>



参加者紹介



ひがし連携会長挨拶



計画冊子(案)提出



高知市長挨拶



写真撮影



懇談



計画(案)概要説明

当日の様子

